



▲長峰中3年生が来館者らと一緒に完成させたエコキャップアート

長峰中3年エコキャップアート

茅野市長峰中学校の3年生が6日、同市中央公民館で来館者らとエコキャップアート作りをした。生徒をはじめ保護者、住民ら約15人が交流しながら取り組み、白地に黒のキャップで市内出土の国宝土偶「縄文のビーナス」「仮面の女神」の2体をデザインしたアートを完成させた。

学年全體で取り組む「茅野市の魅力向上プロジェクト」の一環。21のテーマ別に活動しており、「エコキャップアートチーム」には生徒6人が参加。幅広い世代が楽しめるイベントを企画する中で、参加しやすいエコキャップアートを思い立った。デザインは

地元ならではの縄文から発想。市の縄文のブランドマークに決め、規定に沿った比率で2体を表した。10月下旬に市役所など3カ所にキャップ回収用の箱を設置。材料購入の資金に充てるため同時にアルミ缶も集めた。

この日は黒のキャップが目立つよう白いテープを全面に貼って穴を開けた段ボールにキャップをはめていく作業をした。生徒たちはサークル活動などで来館した人に声を掛けなどして協力を依頼。約300~400個のキャップを使

国宝土偶2体、デザイン

この日は黒のキャップが目立つよう白いテープを全面に貼って穴を開けた段ボールにキャップをはめていく作業をした。生徒たちはサークル活動などで来館した人に声を掛けなどして協力を依頼。約300~400個のキャップを使って縦1・5m、横2mほどのアートを完成させると、「すごい」と歓声や拍手が上がった。グループリーダーの濱明里さんは「いろんな人とおしゃべりしながらできて楽しかった」山本奈央さんは「短期間でここまでくるのは大変だつたけど、完成して一安心」とほほとした表情を浮かべた。作品は10~17日ごろに中央公民館に飾り、その後、同校に展示する予定。(小尾口有)